



▲くもも審判も真剣勝負（加治木くも合戦）

かごしま
あいら
市議会だより

No.5 6月定例会
平成23年7月31日発行

声
傍聴席から

16

一般質問
18人市政を問う

7

補正
福祉事務所を新築移転

3

決議
川内原発3号機建設中止

川内原発

5

福祉事務所の建設

— 待ち合いスペースもゆったり —



▲背中也伸びてみんな元気に頑張りました（福祉運動会）

6月定例議会は、6月17日から7月5日までの19日間の会期で開かれました。

条例改正のほか一般会計補正予算、指定管理者の指定、請願・陳情などの議案を審査しました。請願4件、陳情1件を採択し、残りすべての議案を原案どおり可決しました。

今回の補正では、7404万円を追加し、本年度予算総額は268億9088万円となりました。福祉事務所の建設や、小山田農産加工センターの合併処理浄化槽設置、特定の年令に達した方に検診費用が無料になる「大腸がん検診クーポン」の配布や、仙台七夕祭りへ日本一の始良市の孟宗竹を贈る経費などです。

内訳は、7848万円の国・県支出金の交付決定を受けて財源の変更に伴う補正であり、これによって、市の一般財源および市債が減額になりました。

補正予算

福祉事務所を新築移転

4800万円

福祉事務所は、本庁舎2号館1階にあります。来庁者からも待合スペースの拡張の要望があり、2号館隣接地に、福祉事務所を新築し、業務の一部を移転します。

員を配置します。

1階には、相談室2室と障がい者用トイレが設置されます。年内に完成し、仕事始めにはオープンする見とおしです。

質疑 プレハブ構造にした理由は何か。

答弁 木造では、年度内完成が見込めない。

プレハブ構造は、移転が簡単なため、決定した。



▲福祉事務所の建設予定地

小山田農産加工センターに合併浄化槽を増設

1068万4千円

この施設は、「さくら」の14人が活動拠点にしています。

地域農家が増産する大豆を利用して、学校給食を対象に豆腐の納入を増やそうと計画しています。

計画実現には、既存の合併処理浄化槽(28人槽)

では不足するため、新たに50人槽を設置します。

加治木学校給食センターに消毒保管庫を購入

55万7千円

給食献立に、小山田農産加工センターが生産する新鮮な豆腐を取り入れるため、専用の調理用具が必要です。

既存の調理器具保管庫では、容量が不足するため購入します。

質疑 市内には5つの農産加工施設がある。他の施設整備はどうするか。

答弁 今回のような取り組みや、新たな特産品開発に取り組む時は支援する。



▲地元のおいしい豆腐が食べられる(竜門小)

働く世代の大腸がん検診

クーポン券事業

466万9千円



▲受診率の向上をめざして(大腸がん検診キットをどうぞ)

この事業は、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の人に検診手帳と無料クーポン券を配布し、検診を行うためのものです。

検診希望者には、検査キットを送付します。

これまでの「女性特有のがん検診推進事業」から大腸がん検診を加えた「がん検診事業」に要綱が改正されたことによるものです。

質疑 対象者は何人か。

答弁 5027人である。

質疑 22年度の大腸がん受診実績を示せ。

答弁 国は、受診率50%を目標にしているが、市の受診率は26%である。

始良の心を東北へ

「鎮魂と願い」を込めて

仙台七夕に孟宗竹と短冊を送る **120万円**

東日本大震災で甚大な被害を受けた仙台市の七夕祭りに、日本一の孟宗竹と一緒に、多くの始良市民の願いを託して届けます。

孟宗竹は、市内の上名岩下地区産を使用します。巨大な竹で根つき2本、根なし2本の計4本です。全長28mのトレーラーで運搬します。

質疑 全体の事業費と実行委員会の構成を示せ。答弁 総額は300万円です、補助残の180万円は短冊1本5000円の売り上げ等で対処する。

実行委員会は有志で構成され、商工会など21団体が共催または後援している。



▲仙台へ送る日本一の孟宗竹（57cm）



▲板橋一步の作品をもっと知って

もっと知って 彫刻家「板橋一步」 写真集とブロンズ像 **200万円**

旧蒲生町出身で、富山県南砺市井波地域を拠点に活躍した板橋一步の作品は、蒲生ふるさと交流館に収蔵されています。板橋一步をもっと広く市民に知っていただくために、「板橋一步顕彰会」(13人)が収蔵作品の写真集とブロンズ像を作製します。財団法人地域活性化センターの助成事業で、補助金として支出します。

臨時議会

23年5月31日開会

東日本大震災の
災害援護費 **290万5千円**

東日本大震災の
義援金ほか **1163万3千円**

東日本大震災の被災者で生活基盤に影響を受けて居住できない方、原子力発電所の損壊等により、国から避難指示を受けた地域の方々を対象に支給されます。

① 被災地から始良市への移動費用支援金1人当たり5万円（小学生以下は半額）

② 生活必需品購入費用1人当たり5万円

③ 保育園・幼稚園及び、小・中・高の生徒への教育支援金1人当たり10万円です。

質疑 始良市への移住状況はどうか。

答弁 蒲生1世帯2人、始良1世帯1人、加治木1世帯3人である。

義援金は、県内の19市が協議し、市民1人当たり100円で、始良市は700万円です。

保健師の派遣先は、宮城県女川町です。人員は5人で、費用は149万8千円です。

被災者支援留学制度の補助金は、313万5千円です。始良市内の学校に留学を希望する児童生徒に対し、里親制度を設けて、里親に対して補助金を支給します。

質疑 義援金はどこに送るのか。

答弁 東北3県の市長会へ送る。

質疑 里親の希望者は、答弁 19世帯ある。

川内原発3号機中止決議

賛成 16 反対 11

川内原発3号機建設中止 及び1・2号機の安全確保を求める決議書

大震災発生にともなう福島原発事故は、一旦起きれば取り返しのつかないことが、証明されました。

核分裂の制御や、放射性廃棄物処理もまったく技術的に未完成です。そのうえ、活発な地震活動帯の中に日本列島の原発があります。

川内原発も甞島の活断層の近くにあります。

さらに運転開始以来 30 年近くも経つ老朽化した原子炉です。

始良市議会は、川内原発 3 号機建設の中止及び 1・2 号機の安全確保を求め決議する。

平成23年7月5日

始良市議会

川内原発3号機建設の中止及び1・2号機の安全確保を求める請願（請願者 美しい住みよい始良市をつくる会 原田俊明 紹介議員 堀 広子）が提出され、賛成多数で採択しました。議会は、請願書の趣旨に基づいて九州電力に申し入れを行うことを決議しました。



▲川内原発1・2号機

活発な討論

○賛成

里山和子議員

●原子力発電は未完成の技術で、使用済み核燃料の処理、放射性廃棄物の処分など何一つ解決の目途が立っていない。将来にわたって地球環境と人類に負の遺産を生み続ける。●日本は地震列島なので世界一大きな原発は中止すべきだ。

堂森忠夫議員

●原発事故は、国の責任である。事故発生で原発はいらないと国民の意識は変わってきている。●原発に頼らず循環型の自然エネルギーを生かすべきだ。

神村次郎議員

●原発事故は、放射能汚染で子どもや乳幼児に深刻な影響をあたえる。●九州電力は太陽光・風力発電を供給計画に入れないので、今後も約200万キロワットの余裕がある。

●地産地消のエネルギー開発にとりくむべきだ。

×反対

和田里志議員

●請願はもともと原発反対の立場でありながら、1・2号機については、安全確保を求めるなど、相反するものだ。●自然エネルギーの早急な具体的進展は難しく、その費用対効果も課題だ。●請願内容は、あらゆる角度から検証が必要である。

●原発建設は、中止でなく安全性が確保されるまで凍結すべきだ。

湯川逸郎議員

●日本全体の電力はこれから不足する。地球温暖化を考慮すると3号機の建設は必要不可欠であり、安全性を確保した上で今後も依存せざるを得ない。●短期的に原子力発電所の電力を補うことは困難である。

請願と陳情

5件を審査
(川内原発は5ページに特集)

市道、久末・薄原線の二車線化早期整備促進を求めます

提出者 濱 平 邦 彦
(ほか2名)

環境整備なくして「安心安全のまちづくり」は実現しません。その意味で、地元の方々の強い要望は十分に理解できますが財政的にも厳しく、**趣旨採択**としました。執行部に継続的な調査と計画的な改良を要請しました。



▲狭くて危ない久末・薄原線



▲冠水した道路

松原上自治会の道路など施設整備を求めます

提出者 追 鳥 嘉 正
紹介議員 笹 井 義 一

人口が増加し続ける地域のため、道路の舗装と改良は切実な要望です。しかし、件数も多く実現は難しいと判断し、**趣旨採択**としました。執行部に排水対策等も含めた市全体の計画を立てて対策を講じるように要請しました。

採択

請願者 山下 秀和

紹介議員 本村 良治

30人以下学級の実現
義務教育費国庫負担制度拡充を求めます

採択

請願者 徳田 哲也

紹介議員 上村 親

公共輸送機関の存続へ
JR九州等に係わる支援策を求めます

趣旨採択

願意は十分に理解できるが、財政事情等を考えると、当分の間は願意を実現することは不可能（趣旨には賛同）

意見書

議会は陳情の主旨に沿った意見書を、内閣総理大臣ほか関係大臣に提出しました。

蒲生観光交流センターと別館の新たな指定管理者を募集しました。
(株)芙蓉商事、(株)西日本ビル代行、(株)JTBコミュニケーションズ九州、NPO法人LaB蒲生郷の4団体の申し込みがありました。

指定管理の主な業務内容
施設の管理運営と、始良市全体が活性化される取り組みを地域と一体となって実施します。

質疑 選定の主な理由を示せ。
答弁 全国に展開するJTBグループ各社のネットワークを活用して、始良市の情報発信と誘客の取り組みに期待した。



▲指定管理者が代わる蒲生観光交流センター

蒲生観光交流センターの指定管理者決まる

(株)JTBコミュニケーションズ九州

観光

あいらびゅ一号を生かせ

市長／一人でも多くの方に



和田里志議員

和田 九州新幹線鹿児島ルート^①の全線開通に合わせ、始良市観光バス運行試験事業として「あいらびゅー号」の運行が始まった。この事業のこれまでの実績と通年型観光地づくりについて示せ。

市長 「これまでの乗車人数は延べ650人、乗車率84・6%である。広報で知った方のほか、口コミによるお客様やリピーターも増えてきており、一人でも多くの方に何回となく来ていただけるような観光地づくりを目指していきたい。」

行政サービスの推進

市長／3つの視点にたつて

和田 市民や来庁者に優しい窓口体制の検討を進めるとしたが、その具体策について示せ。

市長 「接遇面」「業務の効率面」「待合スペース



▲あいらびゅ一号の乗客に説明するボランティアガイド

18人が一般質問

市政を問う

の環境面」の3つの視点から行政サービスの総点検と改善に取り組んでいかなければと考える。福祉部の生活保護部門等の移転に伴い、窓口の改修を計画している。



笹井義一議員

笹井 東日本地震と津波に加えた福島原発災害は、想定外の事がどこでも発生することを意識づけた。始良市民の一番の関心事は鹿児島湾内で同様な津波が発生した時、市内沿岸のどこまで達するかどこへ避難したら良いか

防災

地震・津波・台風・豪雨

市長／地域防災計画を見直す

- ということと思う。一方台風や雨水排水も忘れてはならない。
- 市長 ①ハザードマップを視野に入れた地域防災計画の見直しを考えている。
- ① 10mの津波を想定したハザードマップの作製は。
 - ② 液状化現象は、沿岸部河口付近の平坦地で発生。
 - ③ 堤防が造成地より5m高く、造成地側に余地がないため、設置は困難。
 - ④ 始良市の総合的な雨水排水計画を策定する。
- ② 液状化が発生する地域の分析は行われているか。
- ③ 須崎地域の造成地に砂防・防風林の設置は。
- ④ 雨水排水対策にどのように取り組むか。



▲始良市の津波予想マップ(10mを想定・赤色が到達区域)

団地下水

移管のスケジュールは

市長／調査結果後に検討



本村良治議員

本村 大型団地の汚水処理施設の始良市への早期移管が望まれている。

市への移管スケジュールはどうか。

市長 新設した下水道課では、移管に向けた「汚水処理施設現況等調査」を専門業者に委託しており、8月末に報告予定である。

この調査結果を受けて、今後の全体スケジュールを検討する。



▲市への移管が望まれる汚水処理施設

原発の放射能対策

市長／防災指針の見直し国へ要請

本村 川内原発の放射能対策について現在での対応をどのように考えるか。

市長 九州市長会の総会で「原発の安全対策に関する緊急決議」を採択し

た。

市民の安全・安心な暮らしを守るという観点から、原発の防災指針の見直しを早急に行うよう国、九電へ要請する。

その他の質問

○学童クラブの支援

介護者への支援を

市長／負担軽減に取り組む



湯川逸郎議員

湯川 家庭介護世帯への給付サービス状況及び介護への支援を具体的に示せ。

市長 給付サービスは、訪問介護・通所介護・短期入所をはじめ、福祉用具の貸与や住宅改修等が制度化されている。

また、介護給付の他に

紙おむつの給付・出張理容サービス等を実施している。

現在、要援護高齢者世帯の実態把握と台帳整備を進めている。介護負担の軽減に取り組みたい。

防災・水防計画の基準値

市長／地震・津波・原発を想定し見直す

湯川 東日本大震災を踏まえ、始良市の地域に係わる危機管理で、地域防災計画及び水防計画の基

準値見直しは必要ないか。
市長 地域防災計画の見直しは、鹿児島湾奥のマグマだまりや桜島の大噴火に伴う地震発生後の大津波を想定した計画の見直しを行い、更に、原発事故への防災対策も行いたいと考えている。

その他の質問

○今後の企業誘致と用地活用



▲笑顔で介護

開発行為による 道路管理

公衆用道路

市長／市への寄付を呼びかける



田口幸一議員

田口 開発行為に伴う道路の維持管理はどのように考えているか。

市長 開発行為に伴う道路は、公共施設管理者の始良市と開発行為を行うおととする者が協議を行い、始良市に寄付するように呼びかけている。
しかし、公共管理者への寄付は個人の財産を市にもらい受けるものであり、始良市土地利用対策要綱の中で強制力を持つ対応すべきものではない。



▲民間開発の道路整備を望む

い。

また、開発業者や施主の用地に関する権利関係やいろいろな事情により寄付されない場合も多々あり、始良市の土地利用対策要綱の適用範囲が、1000㎡以上であり、それ以下の小規模な宅地造成地の公衆道路や共有敷地等も多数あると考えられる。
現在、始良市の開発行為申請後の私道は、約2000件ほどある。

- **その他の質問**
- 選挙の投票率アップ
- 収納対策
- 川内原発

道路改善

荻野中央・狩川線

市長／工事に着手したい



萩原哲郎議員

萩原 荻野中央・狩川線の住民説明会の内容を示せ。

また、区画整理が進まず、多くの課題や悩みを抱えている。工事の着手を早める考えはないか。
市長 平成18年12月26日と、22年6月6日に同意書を添えて、要望書が提出されている。
隣接する市道と、改良した市道が接続されなければ効果が出ない。
改良区間の地権者の理解が得られたなら、工事に着手したい。



▲早急な改善を望む

船津公園の整備

市長／今後研究していく

萩原 船津公園の駐車場拡張計画はあるのか。
選手の皆さんが安心して試合に臨めるよう、Bコートに早急に、ベンチ。

その他の質問

- 学校の勤務状態・施設
- ・ 学童保育

倉庫の設置を求める。
市長 道路改善工事後は、30台の駐車場が増設され、約100台の駐車が可能となる。
多目的広場として利用できるよう計画しているため、利便性を考えながら今後研究していく。

道の駅を建設

雇用対策

市長／研究していく



堂森忠夫議員

堂森 地域活性化のため
に、農・商・工・官が協
働運営店舗を推進し「道
の駅」を建設して、雇用
拡大に努められないか。
市長 県央の地理的条件
を生かした「道の駅」的
な施設の整備と活用に関
する構想を考えている。
そこに出品する生産者



▲「道の駅」建設で地域おこし

の意欲や所得向上への期
待、雇用の創出及び交流
人口の増加など地域活性
化が期待できると考えら
れ、十分研究していく。

鳥獣被害防止の対策

市長／集落指導員を配置

堂森 国の経費で農林業
に手厚い対策を図り、持
続可能な地域継承のため
に、鳥獣被害防止や森づ
くりを常時、自衛隊員を
市に派遣させて、国土保
全業務と次世代育成を図

る要望を国へできないか。
市長 今年度から鳥獣被
害防止対策集落指導員を
配置して、県と連携し被
害防止の推進を図る。
防止対策等で自衛隊を
要請する考えはない。

その他の質問

- 安心安全な地域づくり
- 交通安全協会の移転
- 市道・西別府線の事故

地域振興

プレミアム付商品券

市長／始良市商工会発足時に発行



竹下日出志議員

竹下 消費拡大による地
域振興の対策として、商
工会と連携して市内で利
用できるプレミアム付商
品券を発行する考えはな
いか。
市長 3町商工会の合併
に関する基本協定書の調
印式が、5月10日に行わ
れた。

市では、始良市商工会
の発足に合わせて、商工
会と連携し、合併記念事
業としてプレミアム付商
品券の発行を考えている。

芸術家登録制度を設置

教育長／積極的に事業を推進

竹下 芸術家や文化団体
が、地域の学校教育や生
涯学習、イベントなどで
活躍できる場を増やすた
め「アーティストバンク

(芸術家登録制度)」を設
置する考えはないか。
教育長 これまで本市の
各種講演やイベント等で
活躍された講師や、指導
者等の人材をデータベース
化するため情報収集を
行っている。

これらの情報を活用し、
アーティストバンク事業
の推進を積極的に図る。

その他の質問

- 防災対策の強化
- 被災者支援システムの普及・活用



▲始良市誕生を祝う「第九を歌う会」演奏会

ごみ収集

改善の方針

市長／袋方式からコンテナ方式



河東律子議員

河東 資源物収集については、平準化して始良市方式を策定するとのことであったが、改善の方針は定まったか。
市長 ○蒲生地区、袋方式からネット方式・コンテナに
○加治木地区、缶類のアルミ缶・スチール缶から飲料水・その他の食用缶へ
○始良地区、計量による還元金、常設のステーションの見直しで、今後協議することも含んでいる。

防災計画の見直し

市長／津波被害の想定

河東 東日本で大震災が起こった。

本市の防災計画の見直し点はあるか。防災の視点をどこにおくか。



▲みんなの協力できちんと分別された資源物

市長 見直す点は、まず津波被害の想定の変更、被害の範囲や避難場所の明確化、情報の伝達手段等を地域防災計画に全て記載することである。

防災の視点は「自らの安全は自ら守る」の自覚を持ち、自主防災への取り組みが重要である。

市長 見直す点は、まず津波被害の想定の変更、被害の範囲や避難場所の明確化、情報の伝達手段等を地域防災計画に全て記載することである。

その他の質問

○節電

○介護問題

期日前投票の短縮

選管委員長／近隣の動向を見る

総合支所



神村次郎議員

神村 加治木・蒲生総合支所では、県議会議員選挙期日前投票が短縮された、その理由は何か。
また、農業委員会の職員は、加治木・始良総合支所では他系の職員の兼務となっているが、サービスの低下にならないか。

選管委員長 期日前投票の前半は、少人数であるため、今後は近隣市の状況を見極めたい。
市長 農業委員会事務局については、順調に業務が行われている、今後も必要最小限で効率的な事務の執行に努める。



▲補助制度が望まれる太陽光発電

太陽光発電に補助

市長／制度導入を検討

神村 原発震災を受けて再生可能エネルギー、地産地消のエネルギーへの転換が求められている。

太陽光発電補助制度は設けられないか。

市長 環境保全の面からも重要であり総合計画において重要な施策として位置づけ、制度導入に向け検討する。

その他の質問

○始良市地域防災計画
○川内原子力発電所をめぐる問題

PFI方式

明確な基準示せ

市長／当面個々に検討



出水昭彦議員

出水 新しい公共事業の方式であるので、導入の明確な基準を示せ。市内事業者の参入が困難にならないか。

市長 公共施設の整備であらゆる手法を検討し、従来型と比較検討を行い、PFI導入が効果的であるかを当面は個々に検討したい。
市内事業者は特別目的会社に参加することが可能で、従来と相違はないと考える。



▲PFI方式による市営住宅(クラシオン秋葉 蒲生)

在宅介護・介護110番

市長／今後の検討課題

出水 在宅介護者家族の方が、ひとり悩む事がないように、匿名で相談を受けられる「介護110番」を独自に設置できないか。

市長 地域包括支援センターに平成22年度は約3000件の相談があった。また、本年度は緊急通報24時間コールセンターも対応するので、今後「介護110番」についても検討したい。
併せて個別訪問も実施して支援の充実に努める。

※PFIとは、建設・運営などに民間資金と手法を活用し、効果的な公共サービスの提供を図る方策

吉田焼却センター

市長／総合計画の課題

環境問題



玉利道満議員

玉利 環境問題は、市政の重要な視点である。吉田焼却センターの処理について問う。

市長 4月に鹿児島市に出向き、吉田焼却センターの現況と解体について説明した。
土壌検査によるダイオキシンをはじめ26項目の



▲いつどのように解体されるのか吉田焼却センター

検査値は、すべて基準値を下回っていること、解体の必要性は十分認識しているとのこと、解体には跡地利用計画がなければ補助制度及び起債を利用することができず多額の一般財源が必要となることである。

鹿児島市としては、早急な解体を求めることはなく、跡地利用等についても必要に応じて連絡していくことを確認した。

今後、総合計画に課題として位置付け、財政状況を踏まえて関係機関と協議し慎重に対処していく。

その他の質問 ○行政改革

財政の影響

大型事業建設が集中

市長／計画的な事業実施



森川和美議員

森川 小学校、消防署本部、斎場の大型事業建設が集中するが、東日本の大災害で国の財政がもたなくなり、地方への影響が出てくるのではないか。

- ① 防災訓練
- ② 避難所の場所、位置、施設設備
- ③ 食糧、飲料、資材

市長 東日本大災害による経済や財政への影響や、復興のスケジュールが今後明らかになると考えるが、これらを加味しながら、財政計画や行財政改革の推進を考慮し、計画的な事業実施に努める。

防災対策

市長／計画を見直す

森川 東日本地域の地震津波大災害の教訓を考え、次の3点を特に見直すべきではないか。



▲優先順位を明確に

市長 ①今後は津波や桜島の大噴火等を想定した避難訓練も、実施していく。

②地域防災計画の見直しの中で指定。

③しっかり計画を見直す。

その他の質問

○ごみ(可燃物)処理

○職員の活かし方

がん対策

子宮頸がん公費助成

市長／9月補正で対応



新福愛子議員

新福 公費助成の今後の見通しと、要請していた健康セミナーの開催はどうなったか。
市長 この問題については特異性と重要性を鑑み慎重に検討してきたが、7月に蒲生・始良・加治木で健康セミナーを開催する。
これを受けて子宮頸がんワクチン接種公費助成については、9月補正で対応するよう指示をしている。

温暖化防止の取り組み

市長／今後、研究していく

- ① エコライフファミリー
- ② 緑のカーテン・コンテスト
- ③ 電動アシスト自転車購



▲市役所でも緑のカーテンを育てています

入補助

- ④ 公共施設(小中学校など)への太陽光発電の設置とLED照明導入計画
- ⑤ 7月7日の「クールアース・デー」の取り組みを問う。

市長 ①～④は今後検討し、⑤は本年度、ホームページ等で広報する。

その他の質問

○児童サービス課の現状と課題

○各種検診とがん教育

管理組合の制度化

墓地の運営

市長／管理組合設立が望ましい



湯元秀誠議員

湯元 墓石の放置、整地がなされず苦慮している。移転の届け、指導・確認はなされているか。また、墓地管理組合の設置と、撤去、納骨先の届けの制度化はできないか。



▲管理団体がないため、荒れていく墓地

市長 改葬の届けはして頂くが墓石の処分制度的なものはない。制度化は考えていないが、墓地管理組合設立が望ましい姿と考える。

久末・薄原線改良

市長／過疎自立促進計画に位置付け

湯元 過疎債も蒲生地域に限定された時限立法である。国・県の措置対応

はどうなるか。基金設置は成されたか。

また、陳情のあった久末・薄原線改良の整備の今後はどのようなか。

市長 期間延長の要望活動を行い、蒲生地域の特性を最大限に生かす施策を展開していく。基金として4840万円を創設した。

過疎自立促進計画の中に位置付けていきたい。

川内原発

中止の申し入れ

市長／安全対策を九州市長会で



里山和子議員

里山 川内原発周辺の4市2町の首長は九電に、川内原発3号機建設凍結及び1・2号機の安全確保を求める申し入れを4月未頃までにしておられるが、始良市でも急いで申し入れたらどうか。

市議会が決議したら申し入れる方針か。

市長 5月に長崎県で開催された九州市長会総会で、「原子力発電所の安全対策に関する緊急決議」を全会一致で採択し、九州電力及び経済産業省などへ要請した。

脇元海岸周辺の環境整備

市長／条例に基づき要請

里山 (株)岩崎産業の私有地の一部分が、維持管理が悪く、4月に草刈り後の枯れ草に火がつき、ほや騒ぎがあった。定期的に草刈りをして

環境整備するように、注意勧告すべきと思うがどうか。

市長 定期的な雑草除去など維持管理をして頂けるように要請しており、今後とも条例に基づき要請していく。

その他の質問

○防災対策

○私道に対する固定資産税



▲防火防犯のためにも雑草除去を

弓道場

実施計画に折り込み

市長／検討する



谷口義文議員

谷口 昨年6月、県弓道連盟始良支部より出され、議会で採択された陳情を、今後早い段階で総合計画の実施計画に折り込み。

市長 始良地区と蒲生地区では一般会員専用の施設を有しているが、加治木弓道場は、中学生と一般会員との共同使用となっているのが一つの課題である。
今後、新たな弓道場の建設については、社会体育施設として総合計画の中で位置づけられないか検討する。



▲遠的場も備えた弓道場の建設を

法人との話し合いは

市長／利用の相談をしている

谷口 アイルアイラを医療法人玉昌会が購入した。今後どのような形で運営されていくのか。法人との話し合いは、なされているのか。

市長 購入した医療法人とは施設等の活用方法を相談している。具体的には、数年間、準備等を要することのことである。

その間、グラウンドを借用し、公園、グラウンドゴルフ等について、利用できないかなどの相談をしている。

その他の質問

○可燃ゴミ

○あいら斎場

西始良小に設置を

市長／整備について考える



堀 広子議員

堀 西始良小学校の敷地内に、児童クラブ「プレハブ施設」を設置できないか。

児童クラブの補助金は、実際に必要な金額と比べて、とても少ない。霧島市のように市独自の補助で児童クラブの維持・拡充を保障すべきではない

か。

市長 プレハブは教育委員会と協議し、整備について考えていく。

平成22年度に補助金の増額をしており、継続的、安定的な運営がなされている。

太陽光発電に補助を

市長／今後、検討する

堀 温暖化防止に有効な再生可能エネルギーを普及するため、住宅用太陽光発電に市独自の補助金を出す考えはないか。

環境教育や住民の意識を高めるためにも、学校などの公共施設にも設置できないか。

市長 総合計画で重要な施策として位置付け、今後、制度導入について検討する。

その他の質問

○錦江駅前駐車場を無料に



▲友だちと楽しいよ（竜門児童クラブ）



▲子どもたちにとっても
県内一住みやすい始良市にしたい (重富小)

傍聴席から

梅雨時期の足もとの悪い中、80人の方が傍聴においでいただきました。特に一般質問の日には68人と集中しました。

皆さまからいただいた貴重なご意見を十分参考にし、新市の運営に役立てたいと思います。

○答弁者の言葉の内容がわかりにくい場合がある。質問者と答弁者の議論がかみ合わない。(70代男性)

○具体的な数値に基づく答弁や、ある程度の期日、具体的な活動計画を述べてほしい。(60代女性)

○子宮がん、障がい者の事について、まだまだ意識が薄いと感じた。(20代女性)

○丁寧に調べて質問に望む議員さんもあった。機会があればまた傍聴したい。(50代女性)

○傍聴者が少なくてびっくりした。今後機会をつくってまた来たいと思う。(60代男性)

○始良市旗は新しくよく見えるが、上の国旗の日の丸がすすけて見える。(70代男性)

○質問の途中で時間もきたからと打ち切るが、どんな質問なのか最後まで聞きたい。(70代女性)

○要望やお願いが多い。基礎的係数については、議員が調査して論議されたい。(70代男性)

お答えします

新市になってから傍聴に来られた方々のアンケートに寄せられた意見にお答えします。

○議場の電灯が3か所切れかかっていて、気になる。
答 意見を頂いてからすぐに電灯をとり替えました。

○議場の電灯が3か所切れかかっていて、気になる。
答 今後は、省エネ対策として、LED電灯への切り替え等も検討していきます。

○市側の出席者の席次表がほしい。
答 今まで傍聴席に来られた方に配布していた議場の席順表に、市側の出席者の名前を入れて、6月の定例会には配布しました。

○議員の定数は30名は多すぎる。次回選挙では20人以下でも十分だと考える。
答 議会改革を進めるため、現在「議会基本条例」と「議員定数」について特別委員会をつくり、検討中です。

○議員定数については、次回選挙までには新たに決定する予定です。

編集後記

震災発生から4か月が過ぎました。地震の復興も収束も全くみえて来ず心が痛みます。

議会では、18人が一般質問を行いました。防災対策や原発問題、温暖化対策やエネルギー問題について質した議員の発言が目立ちました。

ところで玄海原発の説明番組に、世論を誘導する九電側のやらせメールがあったと言うことです。そんな中、始良市議会は、川内原発3号機建設の中止を求める決議をしました。皆さん、これにどう応えますか。(堀 広子)

傍聴席へ どうぞ

車いす席もあります
次回の開会は
9月上旬予定

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 河東 律子 |
| 副委員長 | 新福 愛子 |
| 委員 | 笹井 義一 |
| 委員 | 竹下日出志 |
| 委員 | 堂森 忠夫 |
| 委員 | 堀 広子 |
| 委員 | 安田 久 |
| 委員 | 湯之原 一郎 |

発行責任者
議長 兼田 勝久
広報等調査特別委員会